

新総合計画のスタート！ ～健やかな暮らし、幸福実感の～



亀山市長 櫻井 義之

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和8年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は市政の進展に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は、新市施行から20年、また、野登、神辺、加太、川崎の4つの小学校が創立150年、名阪国道が開通60年を迎えるという大きな節目の年でありました。そのほか、中間支援機能を有した相談支援機関である亀山市市民活動・ボランティアセンター「ぷらっと」の開設や、官民連携で実施した「大阪・関西万博」での出展（亀山茶・関の山車・キャンドル）など、これまで育まれてきた多彩な市民活動や地域コミュニティにおける「市民力・地域力」がまちづくりの基盤であることをあらためて実感した一年でありました。

向上へ～

一方、私たちは今、人口減少社会・超スマート社会という大きな社会構造の転換期を生きています。また、不透明な国際情勢や物価高騰・働き方改革などによる経済・雇用情勢の変化、激甚化する自然災害や深刻化する環境問題など、今後予想される大きな環境変化に適応すべく、財政構造の刷新を急ぎ、持続的に成長し続けるまちでありたいと願っています。

そのような中、来たる令和8年度には、次の中長期戦略となる「第3次亀山市総合計画」が始動いたします。今日までの歩みを礎に、本市の特長でもあり底力である市民力・地域力を一層磨き上げ、現役世代のみならず将来世代への継承を考慮した持続可能なまちをめざして、新総合計画のスタートを力強く踏み出してまいりたいと考えています。

また、本市の重要な地域資源である鈴鹿川等源流域を守り、継承するため、良好な土地利用や太陽光発電施設の適正な管理に向けた独自条例の制定をはじめ、新ごみ処理施設整備に向けた取り組みの推進など、環境保全対策の強化を図ってまいります。

清々しい新年を迎え、「市民のウェルビーイングの向上」と「明るい未来への基盤づくり」の実現に向け、皆様とともに着実に歩みを進めてまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本年が市民の皆様方におかれまして、幸多き年でありますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

令和8年新春